

社会資本総合整備計画

## 和歌の浦地区都市再生整備計画

～『絶景の宝庫・和歌の浦』の歴史・景観を地域の誇りと活力につなげるまちづくり～

### 【第8回変更】

わかやまけん わかやまし  
和歌山県 和歌山市

令和5年3月

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和05年 2月27日

計画の名称	和歌の浦地区都市再生整備計画～『絶景の宝庫・和歌の浦』の歴史・景観を地域の誇りと活力につなげるまちづくり～												
計画の期間	平成30年度 ～ 令和04年度 (5年間)					重点配分対象の該当	○						
交付対象	和歌山市												
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・万葉の時代からの歴史文化をゆっくりと感じる滞在型の観光地域づくり</li> <li>・地域住民と来訪者の交流、体験型観光行動の誘発を地域の価値、活力につなげる</li> <li>・歴史文化の認識、ふるさと意識を高め、伝統文化の維持継承を図る</li> </ul>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,013	A	1,013	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0.0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値	最終目標値 (H34末)
1	和歌の浦を訪問する宿泊観光客数の増加を目指す。(平成28年:117千人 ⇒ 令和4年:146千人) 和歌の浦を訪問する宿泊観光客数	117千人	千人	146千人
2	和歌浦、田野、雑賀崎、紀三井寺地区の居住人口の減少抑制を目指す。(平成24年～29年:7.2% ⇒ 平成30年～令和4年:5.6%) 和歌浦、田野、雑賀崎、名草地区の居住人口減少率	7%	%	6%
3	歴史的風致形成建造物の指定件数の増加を目指す。(平成29年:0件 ⇒ 令和4年:5件) 歴史的風致形成建造物の指定件数	0件	件	5件
4	地域の伝統文化や歴史的建造物に触れる交流者数の増加を目指す。(平成28年度:295万人 ⇒ 令和4年度:312万人) 地域の伝統文化や歴史的建造物に触れる交流者数	295万人	万人	312万人

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																			
基幹事業 (大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	和歌山市	直接	和歌山市	-	-	和歌の浦地区都市再生整備計画	道路(電線地中化・美化) 、公園、地域生活基盤施設、高次都市施設、高質空間形成施設	和歌山市	■	■	■	■	■	1,013	1.08	策定済
											小計						1,013		
											合計						1,013		

C 効果促進事業

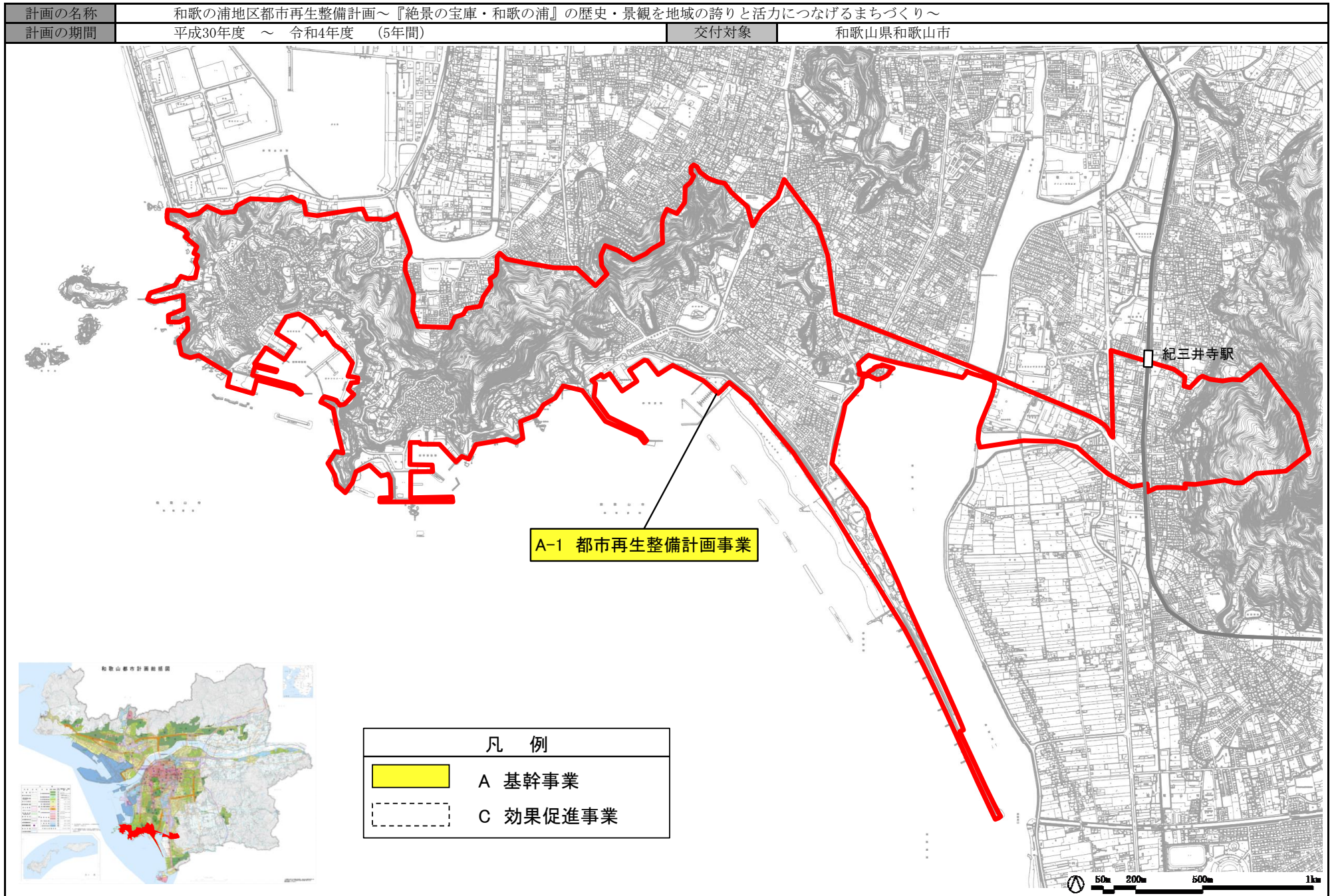
基幹事業 (大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市再生整備計画事業	C10-001	都市再生	一般	和歌山市	直接	和歌山市	-	-	和歌の浦周遊バス事業	来訪者の回遊行動を促すためバスを活用した調査・検証	和歌山市						0	-		
		基幹事業(A-1)と一体となって、広範に分布する歴史的風致形成建造物を回遊するアクセス環境整備に向けて、交通手段の確保により来訪者数の増加や満足度等の有効性を検証する。																		
											小計						0			
											合計						0			

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H30	H31	R02	R03	R04
配分額 (a)	36	62	198	41	
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	36	62	198	41	
前年度からの繰越額 (d)	0	31	57	96	
支払済額 (e)	5	36	159	113	
翌年度繰越額 (f)	31	57	96	23	
うち未契約繰越額(g)	18	4	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	50	4.3	0	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	豪雨による土砂崩れの対応協議に不測の日数を要したため				

(参考図面)



# 都市再生整備計画【第8回変更】

わか かの うら  
和歌の浦地区

わか やま わか やま  
和歌山県 和歌山市

令和5年3月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input checked="" type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input type="checkbox"/>

## 目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	和歌山県	市町村名	和歌山市	地区名	和歌の浦地区	面積	299 ha
-------	------	------	------	-----	--------	----	--------

計画期間	平成 30 年度 ~ 令和 4 年度	交付期間	平成 30 年度 ~ 令和 4 年度
------	--------------------	------	--------------------

### 目標

#### 『絶景の宝庫和歌の浦』の歴史・景観を地域の誇りと活力につなげるまちづくり

永く守り育てられてきた重層的な歴史・景観を核として、日本遺産認定を契機に、歴史的建造物や周辺環境の整備に一体的に取り組むことで、歴史的風致の維持・向上を図り、もって、市民の誇り・愛着の醸成、交流や観光行動を通じた地域の再生、地域の伝統文化の維持継承をめざす。

- 目標1：万葉の時代からの歴史文化をゆっくりと感じる滞在型の観光地域づくり
- 目標2：地域住民と来訪者の交流、体験型観光行動の誘発を地域の価値、活力につなげる
- 目標3：歴史文化の認識、ふるさと意識を高め、伝統文化の維持継承を図る

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現況

- 本市は、紀伊半島の北西、紀の川河口に位置する和歌山県の県都であり、古くから市のほぼ中央を東西に流れる紀の川の南側で城下町として栄えてきた。明治22年に市制が施行されて以来、近畿南部の中核都市として発展し、現在は、人口360,283人(平成29年7月1日現在)、面積210.31km<sup>2</sup>を擁している。
- 和歌の浦地区は、南海和歌山市駅から南に約5kmにあり、万葉の時代以来多くの文人墨客が訪れ、海浜・干潟、砂州、島しょの自然的要素を称える景勝地として知られていた。徳川家の時代に景勝地としての整備が進み、多くの庶民が古来の海浜風景に惹かれて訪れるようになり、その様子は『紀伊国名所図会』にも描かれている。紀州東照宮創建の翌年からは例大祭として「和歌祭」が始まり、現在まで続いている。また、紀三井寺(紀三井山金剛宝寺護国院)は、西国巡礼の第2番札所として、熊野街道を通して多くの参拝客が訪れてきた場所であり、年中行事や謂われとなった三井水「清浄水」「楊柳水」「吉祥水」の保全活動が住民によって継承されている。加えて、和歌浦湾の漁業集落(雑賀崎・田野浦)には、海の守り神として信仰されてきた神社が位置し、それらの祭礼や、漁業に結びつく伝統行事も継承されている。
- 現在の和歌の浦においても、干潟や砂浜、岩崖などを背景に名所及び霊地に相応しい風致景観を有しており紀州東照宮、和歌浦天満宮、玉津島神社、不老橋、三段橋、観海閣、多宝塔などの歴史的建造物が多く残るとともに、干潟の対岸に位置する紀三井寺とあいまって、良好な眺望景観を堪能できる。
- 平成22年8月には国の名勝に指定され、平成29年4月には絶景の宝庫「和歌の浦」として日本遺産に認定されている。
- 和歌祭保存会をはじめとして、和歌の浦の歴史・文化にまつわる市民団体が多数あり、活動も盛んに展開されている。
- 平成21～22年度にかけて、景観の保全を目的とした景観まちづくりワークショップを開催し、その結果を踏まえて眺望景観の保全を主眼とした和歌山市景観計画に基づく「景観重点地区」の指定を行った。また、平成29年度からは雑賀崎においてまちづくりを考えるワークショップを開催し、地域資源を活かした活性化等について検討を進めている。

#### 課題

- 和歌の浦の湾に囲まれた良好な眺望景観や点在する歴史的建造物が魅力であるが、視点場が不足している、分断されており連続性に乏しい、歴史的建造物が適切に維持管理できていない、など十分に保全・活用できていない。
- 観光客減少や廃旅館・廃ホテルの増加、地域住民の減少や少子高齢化など、地域の振興・活力が低下している。
- 和歌の浦の伝統行事などの歴史・文化を永く大切に守ってきた住民などの担い手不足、後継者不足により活動の継続が難しくなっている状況にある。

#### 将来ビジョン(中長期)

- 第5次和歌山市長期総合計画(平成29年3月):分野別目標「住みたいと選ばれる魅力があふれるまち」の中では、「郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進」を政策として掲げ、市民が生涯を通じて芸術・文化活動に親しむ状態をめざす姿とする「芸術・文化の振興」と、文化遺産が適切に保護・継承され、まちづくりに有効に活用されている状態をめざす姿とする「文化財の保護・活用」を、施策として推進していくこととしている。文化財の保護・活用については、各種の文化財の調査・研究、貴重な文化財を継承するための指定・保護への取組みや、地域の文化財をはじめとする歴史・文化に触れる機会の充実、文化財を生かした本市の魅力発信や郷土愛の醸成等が位置づけられている。
- 和歌山市都市計画マスタープラン(平成29年3月):南部地域では、「歴史と新たな賑わいが共にいきづく海辺のまち」という将来像を示しており、以下の部門別方針が掲げられている。
  - 〈市街地整備〉様々な観光レクリエーションの拠点整備／文化・歴史に配慮した個性豊かな住宅地の形成
  - 〈施設整備〉都市計画道路の整備／鉄道やバス路線等、公共交通体系の利便性の向上／水辺空間の緑地整備
  - 〈都市景観形成〉景勝美を持つ湾・海岸景観の保全・形成／特徴的なまちなみを有する漁村景観の保全・継承
  - 〈その他〉漁業振興と観光活用／和歌の浦の保全・観光活用(国指定名勝)
- 和歌山市立地適正化計画(平成29年3月):人口減少、少子高齢化の進行を踏まえ、「若者から選ばれるまちづくりによる都市活力の向上」を目指すうえで、将来においても持続可能な都市の骨格構造として、本市では「多極型のコンパクトなまちづくり」を実現する。中心拠点では、本市ならびに広域圏の中心的な機能を担う地区として、商業・業務、医療、子育て支援、地域文化等の都市機能のさらなる集積による魅力の向上を図り、商業の活性化やまちなか居住を促進し、交流人口の拡大による賑わいのある拠点の創出を進める。地域拠点では、地域の特性に応じ、公共公益や生活サービス、居住、交通結節機能等の日常生活機能の充実を進め、地域の活性化と持続性の確保を図る。また、鉄道網と高頻度バス路線の軸上にある拠点の相互連携を図るため、公共交通ネットワークの維持を目指す。当地区では、紀三井寺駅周辺を地域拠点としており、当地区全体が観光交流を牽引する観光レクリエーション機能ゾーンに位置付けている。
- 和歌山市景観計画(平成25年3月):市を象徴する景観として市民の関心も高く、市の顔となる景観上重要な地区として、「和歌の浦景観重点地区」を指定し、「湾・島しょといった独特の地形・自然の中で、人々の営みが調和して創り育ててきた眺望景観を未来に継承する」ことを目標としている。
- 和歌山市歴史的風致維持向上計画(策定中):重点区域として和歌浦の地区を設定し、歴史的風致の維持及び向上を図るための施策を重点的かつ一体的に推進することとしている。

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
滞在者数	千人	和歌の浦を訪問する宿泊観光客数	滞在型の観光地域づくりを測る指標であり、歴史的建造物や周辺環境等の整備効果を検証する。	117	H28	146	R4
居住人口減少率	%	和歌浦、田野、雑賀崎、名草地区の居住人口減少率	活力ある地域づくりを測る指標であり、地域の交流、観光体験等の促進による地域への波及効果を検証する。	7.2	H29	5.6	R4
歴史的風致形成建造物の指定件数	件	歴史的風致形成建造物の指定件数	歴史的建造物の保存、継承による歴史的なまちなみ形成への効果を検証する。	0	H29	5	R4
地域交流者数	万人	地域の伝統文化や歴史的建造物に触れる交流者数	交流者数を指標とし、地域の伝統文化の維持継承や歴史的建造物の魅力発信による効果等を検証する。	295	H28	312	R4



整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>(整備方針1)良好な街並み景観・眺望景観の保全と整備、ネットワーク化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的建造物を結ぶ主要なルート上での道路整備や街並み整備を図る。</li> <li>・日本遺産「絶景の宝庫和歌の浦」認定とも連携した眺望景観の保全・形成を図る。</li> <li>・良好な眺望景観を望む視点場となるスポットや散策路の整備を図りネットワークを形成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無電柱化事業(市道と歌浦口雑賀崎線)(基幹事業:道路)</li> <li>・道路美化事業(市道と歌浦59号線)(基幹事業:高質空間形成施設)</li> <li>・公園整備事業(御手洗池公園・沖見の里公園)(基幹事業:公園)</li> <li>・観光遊歩道整備事業(和歌の浦、高津子山、浪早崎)(高質空間形成施設)</li> </ul>
<p>(整備方針2)住民や来訪者の交流・観光行動の促進と回遊性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区を訪れる人の回遊の起点となり、市民や活動団体との交流をも促す拠点の整備を図る。</li> <li>・来訪者の回遊性をさらに高めるための環境整備を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「和歌の浦」ガイダンス施設(駐車場含む)(既存建造物活用事業(高次都市施設))</li> <li>・駐車場整備事業(雑賀崎漁港)(地域生活基盤施設)</li> <li>・サイン・案内板等整備事業(地域生活基盤施設)</li> <li>・広場整備事業(雑賀崎灯台周辺眺望広場、雑賀崎台跡周辺広場)(地域生活基盤施設)</li> <li>・観光地活性化計画策定業務(提案事業:地域創造支援事業)</li> </ul>
<p>(整備方針3)住民主体の歴史・文化活動の展開によるまちづくりの担い手育成と歴史文化の継承</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和歌の浦の歴史・文化の保存・継承に取り組む活動団体等の活動継続に向けた支援を行う。</li> <li>・歴史・文化に関心を持つ市民・活動団体等の相互の交流や、自治会、活動団体、外部市民、大学などの連携によるまちづくりを促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「和歌の浦」ガイダンス施設(駐車場含む)(既存建造物活用事業(高次都市施設))【再掲】</li> <li>・歴史的風致維持向上支援法人への助成(提案事業:まちづくり活動推進事業)</li> <li>・伝統文化の普及・啓発、人材育成、地域における歴史文化に着目したまちづくり活動支援事業(提案事業:まちづくり活動推進事業)</li> </ul>
<p>その他</p>	



和歌の浦地区(和歌山県和歌山市)	面積 299 ha	区域 和歌山市雑賀崎、新和歌浦、和歌浦東4丁目、和歌浦中1～3丁目、和歌浦西2丁目、和歌浦南1～3丁目、紀三井寺、田野
------------------	--------------	--

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。

